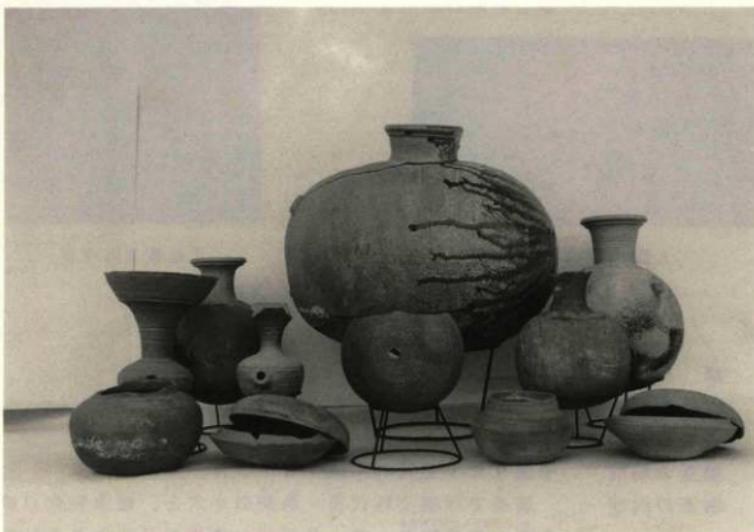


掛川市「考古の日」記念

出土文化財展

とき：平成10年5月22日（金）～24日（日）

ところ：掛川市生涯学習センター ギャラリー1階



茶屋辻横穴群出土 須恵器

1998

掛川市教育委員会

かしらじ

頭地遺跡

1. 調査地 掛川市八坂字頭地 586-1 ほか
2. 調査の原因 県営農地整備事業に伴う道路・排水路新設工事
3. 調査の面積 470 m²
4. 調査の期間 平成9年4月～8月
5. 調査の内容 奈良～平安時代の面(上面)と奈良時代の面(下面)で
建物などの柱穴や溝が見つかりました。掘立柱建物
跡は上面で4棟、下面で3棟はあると思われます。
また、建物が建てられた場所が上・下面で違っている
ことがわかりました。



上面の掘立柱建物跡



下面調査区全景

くりした

メノト・栗下遺跡

1. 調査地 掛川市八坂1138-2 ほか
2. 調査の原因 県営農地整備事業に伴う道路・排水路工事
3. 調査の面積 1,476 m²
4. 調査の期間 平成9年12月～平成10年3月
5. 調査の内容 調査では縄文時代後・晩期の小穴と、鎌倉時代以降
の掘立柱建物跡・溝・井戸状の遺構が見つかりました。



鎌倉時代以降の遺構



近世の遺構

おか つ はら

岡津原Ⅲ遺跡

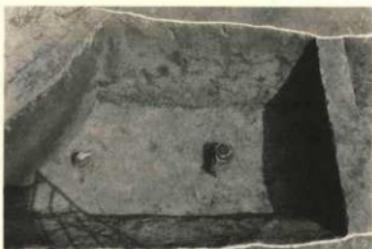
1. 調査地 掛川市岡津 591-1
2. 調査の原因 茶園改植
3. 調査の面積 800 m²
4. 調査の期間 平成9年7月～10月
5. 調査の内容 弥生時代中期の方形周溝墓が7基見つかりました。
また、縄文時代中期の土器が多く出土しました。



方形周溝墓群の全景



方形周溝墓



周溝内の土器



周溝内の土器



方形周溝墓の主体部



縄文土器出土状況

みぞのくち

溝ノ口遺跡

1. 調査地 掛川市吉岡字溝ノ口 1, 746-1
2. 調査の原因 研究棟建設
3. 調査の面積 3, 650 m²
4. 調査の期間 平成9年4月～11月
5. 調査の内容 調査では、縄文時代中期の遺構と弥生時代後期から古墳時代前期にかけての堅穴住居85軒、掘立柱建物7棟、方形周溝墓1基が発見されました。



堅穴住居を壊してつくられた方形周溝墓



布掘りの掘立柱建物



調査区全景

ほりのうちこふんぐん

堀ノ内古墳群

1. 調査地 掛川市長谷709-11ほか
2. 調査の原因 淨化センター建設
3. 調査の面積 300 m²
4. 調査の期間 平成9年5月～平成10年2月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代中期の古墳1基を発見しました。
古墳には遺体を埋葬した穴が3つありました。



古墳全景



排水溝を持つ埋葬穴と鐵刀



埋葬穴内の鐵刀



3つの埋葬穴



埋葬穴全景



古墳を区画するための溝

まえやま よこあな ぐん

前山横穴群

1. 調査地 掛川市長谷1823ほか
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 500 m²
4. 調査の期間 平成9年4月～平成10年3月
5. 調査の内容 古墳時代後期の横穴を4基調査しました。遺体に供えられた土器や刀、首飾りの玉などがみつかりました。



横穴群全景



横穴内の土器



ふたをするための木をはめる溝



横穴の前での祭りに使われた土器



横穴の入り口に供えられた土器



通路に石敷きをした横穴

くろすこ ふんぐん くろす

蔵人古墳群・蔵人Ⅱ遺跡

1. 調査地 掛川市下垂木863-1ほか
2. 調査の原因 住宅団地造成
3. 調査の面積 370 m²
4. 調査の期間 平成9年11月～平成10年2月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代中期の古墳2基、古墳時代前期の竪穴住居跡1軒、集石遺構2基を発見しました。



調査地全景



蔵人古墳群1号墳の主体部



蔵人古墳群15号墳の主体部



集石遺構



蔵人Ⅱ遺跡の竪穴住居跡



竪穴住居内の土器

まえつぼ こ ふんぐん

前坪古墳群

1. 調査地 掛川市高御所1442-9ほか
2. 調査の原因 区画整理事業に先立つ確認調査
3. 調査の面積 1,700 m²
4. 調査の期間 平成9年5月～平成10年3月
5. 調査の内容 前期の前方後円墳である3号墳の測量と、2号墳、4号墳の性格を知るための確認調査を実施しました。2号墳からは、弥生時代と考えられる方形周溝墓と古墳時代後期（6世紀代）の土器がみつかりました。4号墳からは、弥生時代中期の土器、古墳時代の土器、石製の首飾りの玉がみつかりました。



2号墳でみつかった敷石



2号墳でみつかった方形周溝墓



4号墳でみつかった溝



溝からみつかった首飾りの玉

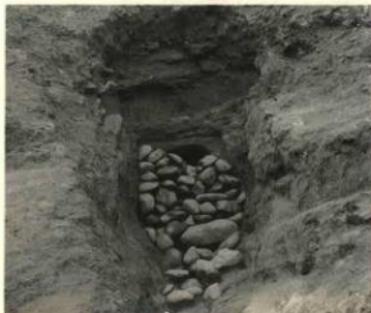
ちゃ や つじ よこあな ぐん

茶屋辻横穴群

1. 調査地 掛川市杉谷1丁目612
2. 調査の原因 土地区画整理事業
3. 調査の面積 1, 200 m²
4. 調査の期間 平成9年12月～平成10年3月
5. 調査の内容 調査では、古墳時代後期の横穴墓を18基と古墳時代中期の古墳2基を調査しました。玄室（遺体を埋葬する部屋）が2つ連なる複室の横穴墓、奥壁に鉄のやじりが刺さっていた横穴墓、県内2例めの特殊扁壺を出土した横穴墓など多くの発見がありました。横穴墓からは、土器の他に馬具、太刀、小刀、玉類などが出土しました。



横穴群の全景



入口をふさぐために積まれた石



横穴墓から出土した土器



横穴墓内に残された工具痕

ひらつか こ ふん

平塚古墳

1. 調査地 埼川市上西郷2387
2. 調査の原因 現況確認調査
3. 調査の面積 450 m²
4. 調査の期間 平成10年1月～3月
5. 調査の内容 調査により、今まで円墳といわれていましたが、方墳の可能性が高いことがわかりました。南側からは、幅2m以上の古墳へあがるための道がみつかりました。また、古墳の周辺には縄文時代中期、弥生時代後期の住居があることがわかりました。



よこあなしきせきしづ
横穴式石室のようす



古墳の入り口部分



古墳へあがるための道



古墳全景

まつばじょうあと

松葉城跡

1. 調査地 挂川市倉真字松葉
2. 調査の原因 県道改築工事
3. 調査の面積 110 m²
4. 調査の期間 平成10年2月～3月
5. 調査の内容 室町時代から戦国時代初めごろの城跡である松葉城の確認調査では、丘陵の平坦な場所に建てられた建物の礎石を発見しました。残念ながらこの建物の時期はわかりません。



調査区全景

下に遺跡はありませんか？

工事計画の前に確認して下さい。

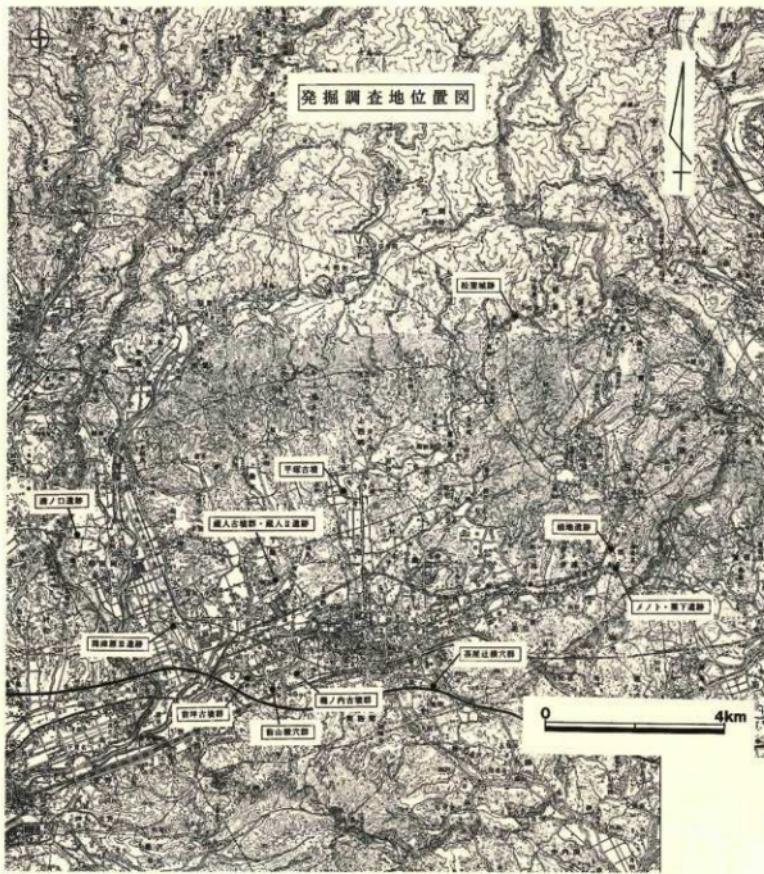
現在、掛川市には940もの遺跡があり、県内でいちばん遺跡の多い市だといわれています。こうした遺跡（埋蔵文化財）は、私たちの「心のふるさと」ともいわれ、後世の人たちに伝えていくことが大切です。

このため、『文化財保護法』で、遺跡のある場所で土木・建築工事や茶園の改植などをする場合には、事前に文化庁に届出をすることが義務づけられています。

工事のため申請したが、遺跡の調査で完成が遅れてしまった——ということがないように、工事を計画する場合には、早めに掛川市教育委員会文化課にご相談ください。

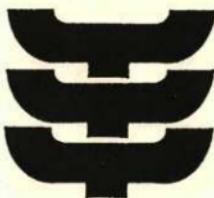
なお、市内にある遺跡の様子を示した『掛川市遺跡地図』があります。計画する前にぜひ確認してください。

掛川市教育委員会 文化課 文化財係 TEL (0537) 21-1158



掛川市「考古の日」

明和 9 年 5 月 21 日（陰暦）現在の長谷字
小出ヶ谷地区において、銅鋌一口が発見され、
掛川藩に届出されました。これが現在の文化
財保護法の遺物の発見届と同じことで、この
日を記念して、市民の埋蔵文化財に対する理
解と、これらを保護・保存しようとする意識
の向上を願い、毎年 5 月 21 日を掛川市「考
古の日」として設定しました。



文化財愛護シンボルマーク